

決算特別委員会

- ◎ 開催日時 令和元年10月24日（木） 10時00分～17時11分
- ◎ 開催場所 議員室
- ◎ 説明員 中嶋文化スポーツ部長、川崎健康医療福祉部長、川浦土木交通部長、青木会計管理者、宮川病院事業庁長、浅見監査委員事務局長および関係職員

◎ 議事の概要

1 議第161号、議第163号、報第8号、報第10号および報第11号について

【健康医療福祉部および病院事業庁所管分】

委員からは、みんなで淡海子ども食堂をつくろう！応援事業について、地域の力で運営を継続していくために、食材や寄付金の確保をしっかりと支える仕組みづくりが必要である、子ども食堂は地域交流の場としての役割を果たしているが、貧困家庭の子供などを受け入れる場としてのあり方も併せて検討する必要がある、医師等の確保について、県内の国際バカロレア認定高校や、ミシガン州との交流なども活用した国際的な医療人材の育成に取り組んではどうか、県立精神医療センターの運営について、医師が定数より6名不足しており、勤務している医師に過大な負担がかかっていると懸念されるため、医師確保に向けてしっかりと取り組まれない、などの意見が出された。

【文化スポーツ部所管分】

委員からは、「びわ湖ホール音楽会へ出かけよう！」ホールの子事業は遠方の学校にも参加しやすい仕組みにされたということだが、びわ湖ホールでの鑑賞は他に代えがたい経験になるので、さらに多くの県内の子どもたちに経験してもらえるような工夫をされたい、新生美術館整備事業を立ち止まったことについて、県民の財産である所蔵品を鑑賞する機会を県民から奪ってしまったこと、また、今後活用困難な経費は外部に支払った約2億円だけでなく、これに関わって多くの人件費が費やされたことについて、反省すべきところを反省して、今後は後戻りのないように進められたい、などの意見が出された。

【土木交通部所管分】

委員からは、水害に強い地域づくり事業における嵩上げ支援制度について、予算を計上しながら執行されない状況が続いているが、執行の見込みが判然としない予算の計上は極力避けるべきであることから、次年度以降の予算要求にあたっては十分留意されたい、まずは同制度の周知が必要である、無電柱化について、コストが高いことなどから、県内における施工実績は少ない状況となっているが、台風等の災害に対しても有効と考えられるところであり、国、市町とも連携して、しっかりと取り組みを進められたい、などの意見が出された。



委員会で配付された資料

- 1 決算特別委員会部局別資料（平成30年度歳入歳出決算）健康医療福祉部
- 2 平成30年度随意契約の結果（500万円以上の工事、物品、委託）健康医療福祉部
- 3 決算特別委員会部局別資料（平成30年度病院事業会計決算）病院事業庁
- 4 平成30年度随意契約の結果（500万円以上の工事、物品、委託）病院事業庁
- 5 決算特別委員会部局別資料（平成30年度歳入歳出決算）文化スポーツ部
- 6 平成30年度随意契約の結果（500万円以上の工事、物品、委託）文化スポーツ部
- 7 決算特別委員会部局別資料（平成30年度歳入歳出決算）土木交通部
- 8 平成30年度随意契約の結果（500万円以上の工事、物品、委託）、平成30年度長期継続契約締結結果（7千万円以上）土木交通部